

**製品名: TR $\alpha$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19348**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	55kDa

**抗原情報**

遺伝子名	THRA
別名	THRA; EAR7; ERBA1; NR1A1; THRA1; THRA2; Thyroid hormone receptor alpha; Nuclear receptor subfamily 1 group A member 1; V-erbA-related protein 7; EAR-7; c-erbA-1; c-erbA-alpha
遺伝子 ID	7067.0
SwissProt ID	P10827
免疫原	抗血清は、ヒト甲状腺ホルモン受容体 $\alpha$ 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 10-59

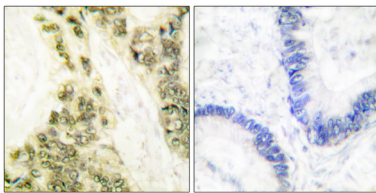
## 背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、トリヨードチロニンの核内ホルモン受容体である。これは甲状腺ホルモンの複数の受容体の1つであり、甲状腺ホルモンの生物学的活性を媒介することが示されている。マウスを用いたノックアウト研究では、異なる受容体がある程度重複しながらも、甲状腺ホルモンの異なる機能を媒介する可能性があることが示唆されている。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2008年7月]、ドメイン: 3つのドメイン (調節N末端ドメイン、DNA結合ドメイン、およびC末端ステロイド結合ドメイン) から構成される。機能: 核内ホルモン受容体。トリヨードチロニンに対する高親和性受容体。類似性: 核内ホルモン受容体ファミリーに属する。類似性: 核内ホルモン受容体ファミリーに属する。NR1サブファミリー。類似性: 核内受容体DNA結合ドメインを1つ含む。サブユニット: NCOA3およびNCOA6コアクチベーターと相互作用し、標的遺伝子の転写を著しく増加させる。SFPQと相互作用する可能性がある。C1Dと相互作用する (類似性による)。AKAP13と相互作用する。、

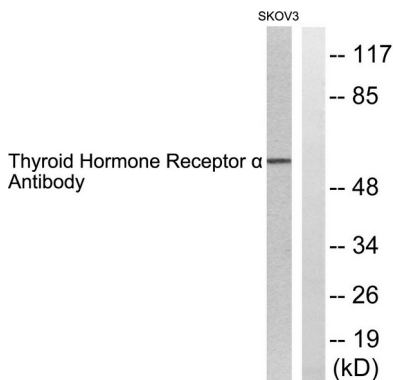
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

## 画像データ



甲状腺ホルモン受容体  $\alpha$  抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



SKOV3細胞ライセートの甲状腺ホルモン受容体  $\alpha$  抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。